



INFOSCALE OPERATIONS MANAGER の製品使用権文書

この製品使用権文書（「本書」）には、ライセンス対象ソフトウェアをご利用になる、個人、会社、または法人であるお客様（以下、「お客様」）と Veritas Technologies LLC の間で締結されるベリタスソフトウェア使用許諾契約（「本使用許諾契約」）の条件の下にライセンスが付与されるライセンス対象ソフトウェアの追加条項（「製品使用権」）が記載されています。本書で使用されているにもかかわらず、本書内で定義されていない「」で囲まれた用語は、本使用許諾契約で指定された意味を持つものとします。本使用許諾契約と本書の条項が一致しない場合は、本書の条項が優先します。

お客様はライセンス対象ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用することにより、本書に記載された製品使用権、および本使用許諾契約の条項に準拠することに同意したことになります。ライセンス対象ソフトウェアに適用される製品使用権に同意しない場合は、ライセンス対象ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用しないでください。

本書におけるライセンス対象ソフトウェアは InfoScale Operations Manager です。

第 1 条（追加の定義）:

「サーバー」は、ネットワークインフラ内でリソースを共有することで、クライアントコンピュータに対してサービスまたはリソースを供給する働きをする個々のコンピュータを意味します。サーバーでは、他のコンピュータまたはデバイスのためにサーバーソフトウェアを実行できます。

「管理対象サーバー」は、ライセンス対象ソフトウェアによって管理、監視および/または保護されるが、実際にライセンス対象ソフトウェアそのものを実行しているのではないサーバーを意味します。

第 2 条（使用権） お客様は、ライセンス対象ソフトウェアは任意の数の管理対象サーバーで使うことができ、現在メンテナンスまたはサポートの対象である、以下に記載されたベリタス製品の登録済みライセンスが適用されます。

ベリタス製品

Veritas Storage Foundation
Veritas Cluster Server
Veritas Dynamic Multi-Pathing
Veritas ApplicationHA
Veritas InfoScale Storage
Veritas InfoScale Availability
Veritas InfoScale Foundation
Veritas InfoScale Enterprise
Veritas InfoScale Access

お客様が (i) Storage Foundation High Availability バージョン 5.1 SP1 以降 (Linux 版) または (ii) Storage Foundation High Availability バージョン 5.1 SP2 以降 (Windows 版) に対する最新のライセンス、およびかかる Storage Foundation High Availability 製品（「SFHA」）の使用許諾契約でお客様に付与された権利を保持している場合は、(i) ライセンス対象ソフトウェア管理サーバーがインストールされている 2 ノードの Veritas Cluster Server クラスタ、および (ii) ディザスタリカバリ用のリモートノードを設定し、ローカルの障害や災害からライセンス対象ソフトウェアを保護するという目的においてのみ、かかる SFHA 製品をライセンス対象ソフトウェア管理サーバーが実行されているサーバーと同じサーバーにインストールすることもできます。それ以外の使用は、かかる SFHA 製品の使用許諾契約で指定されている場合を除き、行うことができません。

第 3 条（STORAGE INSIGHT SOFTWARE DEVELOPMENT KIT（「SDK」））

第 3.1 条（開発ライセンス） ライセンス対象ソフトウェアのライセンスには、Storage Insight Software Development Kit（「SDK」）のライセンスが含まれていることがあります。本条の条項をお客様が遵守することを条件として、ベリタスはお客様に、(i) かかる製品で本来サポートされない新しいアレイを VOM で検出できるようにするための VOM のアレイサポートを強化すること、および (ii) 本条の第 (i) 項 に従って付与される権利を行使してア

ドオン (以下、それぞれを「アドオン」という) を開発することのみを目的として、任意の台数の管理対象サーバーで SDK を使用するための非独占的で譲渡不可能なライセンスを付与します。お客様の SDK のライセンスは、VOM をサポートし、第 2 条に記載されているソフトウェア製品をサポートするためにのみ使用することができます。お客様は、SDK の修正や変更を行う権利も、他のどのような製品のアドオンを開発する権利も持っていません。

第 3.2 条 (再配布可能コードの配布禁止) SDK 自体はお客様が社内にもみ配布し、お客様が社内用として使用するものとします。お客様はいかなる第三者に対しても、方法を問わず、SDK の全体または一部を配布することはできません。VOM のベリタス認定ディストリビュータまたは販売代理店あるいはベリタス認定コンサルティングサービスプロバイダは、第 2 条に記載されているソフトウェア製品をサポートする目的においてのみ、作成されたアドオンを VOM のライセンス所有者に配布する権利を保有します。それ以外の目的の場合、作成されたすべてのアドオンはお客様が社内にもみ配布し、お客様が社内用として使用するものとします。お客様はいかなる第三者に対しても、方法を問わず、SDK の全体または一部を配布することはできません。

第 3.3 条 (オープンソースコード) お客様の SDK の使用権は、SDK の全体または一部がオープンソースコードとなるような方法でお客様が SDK の二次著作物を作成しないことを条件とします。「オープンソースコード」とは、該当するソフトウェアプログラムまたはその改変物の原資料、またはオープンソースコードソフトウェアプログラムがともに動作することが意図されているその他のあらゆるソフトウェアプログラムの原資料をライセンス供与者以外の当事者に開示することが要求され、あるいは、オープンソースコードソフトウェアがともに使用されるあらゆるソフトウェアプログラムのいかなる部分であっても配布する義務が発生するような条件のもとに使用許諾されるソフトウェアプログラムを意味します。オープンソースコードは、GNU 一般公衆利用許諾契約書により使用許諾されるあらゆるソフトウェアを包含し、かつこれに限定されません。

第 3.4 条 (所有権) 本使用許諾契約の第 4 条で説明されているように、SDK およびすべてのアドオンはベリタスまたはそのライセンサーの所有する財産であり、著作権法によって保護されています。ベリタスおよびそのライセンサーは、ライセンス対象ソフトウェアおよびあらゆるアドオンのコピー、改良版、拡張版、修正版、二次著作物のすべてを含み、ライセンス対象ソフトウェアに対するあらゆる権利、権原、権益を保有します。お客様が SDK およびアドオンを使用する権利は、本使用許諾契約で明示的に付与されている範囲に限定されます。お客様に明示的に付与されていない権利はすべて、ベリタスおよび/またはそのライセンサーが保有します。

第 3.5 条 (保証の不存在) 本 SDK は「現状有姿のまま」提供され、市場性、特定の目的への適合性、権利を侵害しないことのあらゆる黙示的な保証を含み、明示黙示を問わず、その他いかなる保証も一切適用されません。SDK は無償で提供されるものであり、したがってベリタスは、SDK を使用するお客様またはユーザーが被るいかなる損害についても、どのような理論の元においても、一切責任を負いません。ベリタスは SDK に関する開発者、エンジニアリング、またはいかなるテクニカルサポートも提供せず、また、ライセンス対象ソフトウェアに関するいかなる更新、アップグレード、改良も行いません。

第 3.6 条 (損害に対する免責) 州や国 (欧州経済領域に属する国を含む) によっては、付随的または間接的損害に対する責任の制限または免除を認めていないため、次の制限や免責事項がお客様に適用されないことがあります。

適用法より認められる最大限において、また、本使用許諾契約で定める救済手段が主たる目的を達することができるかどうかにかかわらず、ベリタスおよびそのライセンサーは、お客様に対し、特別、間接的、付随的または類似の損害 (本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じうる逸失利益、データ損失を含みますが、これらに限定されません) について、ベリタスが当該損害の可能性を通知されていたとしても、一切の責任を負いません。

第 3.7 条 (開発の免責) お客様はライセンス対象ソフトウェアを使用して、SDK および/または VOM と連携するアドオンを作成することができます。ベリタスは、お客様のアドオンまたはお客様が行ういかなる開発およびプログラミング作業についても責任を負いません。お客様が開発およびプログラミング作業中に適切なレベルのスキルを使用せず、注意を払わなかった場合は、お客様のアドオンが原因でベリタス製品の使用または操作中にエラーまたは問題が生じる可能性があります。お客様は、お客様自身のリスクで、アドオンを開発および使用するためにライセンス対象ソフトウェアを使用することができ、ベリタスは、お客様がプラグインパッケージファイルソリューションを正しく開発、プログラミング、インストール、設定、監視しなかったことにより、ライセンス対象ソフトウェアおよび/または他のベリタスソフトウェアで発生したいかなる不具合に対しても一切責任を負いません。



第 3.8 条 (メンテナンス/サポートの非提供) ベリタスは、本使用許諾契約に基づき、SDK のメンテナンスやサポートを提供せず、その義務も負いません。

第 4.0 条 (JAVA の通知) ライセンス対象ソフトウェアには、Oracle Corporation によってライセンスを付与された Java SE Platform の一部が含まれています。ライセンスに従い、次の通知を提供する必要があります。

商用目的または業務目的で商用機能を使う場合は、Oracle 社の個別のライセンスが必要です。「商用機能 (Commercial Features)」とは、<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/documentation/index.html> でアクセス可能な Java SE の資料の表 1-1 (Java SE Product Edition の商用機能) で特定される機能を意味します。

第 5.0 条 (データ収集、データ保護の規制)。ライセンス対象ソフトウェアの使用に関して、ベリタスは特定の情報 (「収集データ」) を収集、維持、開示および使用することがあります。収集データには、お客様、お客様のデバイスまたはシステム、お客様のソフトウェア使用に関する個人情報が含まれますがそれらに限定されません。ベリタスはこのような収集データを利用し、ライセンス対象ソフトウェアまたはメンテナンスやサポートを有効化し、最適化し、お客様に提供します (その際、第三者が関与する場合があります)。また、集計データを調査し、統計的に分析するなどしてベリタスの製品およびサービス全般を改善します。ライセンス対象ソフトウェアのインストールおよび/または使用により、お客様はこのセクションで説明している収集データのベリタスによる収集に同意したことになります。ベリタスがお客様またはお客様のデバイスから収集、維持、開示、使用する情報について詳しくは、ベリタスの製品プライバシー通知 (<https://www.veritas.com/privacy>) を参照してください。ライセンス対象ソフトウェアの使用は、法の管轄地域によっては、データ保護に関する法律や規制の対象になることあるので注意してください。お客様には、そのような法律または規制に従ってライセンス対象ソフトウェアを使用する責任があります。